

安城更生病院 広報誌

# いんふおめしゅん こうせい Information Kosei

ご自由にお取りください

10月  
No.110



## Index

### P2 特集

「よりよく生きる」ための医療  
**緩和医療センター**

P6 連携医紹介 ■東栄歯科医院  
■碧海中央クリニック

P7 患者満足度調査〈結果報告〉

P8 News & Topics



# 『よりよく生きる』ための医療 緩和医療センター

病を抱える患者さんやご家族と向き合い、身体と心からさまざまな「痛み」や「つらさ」をやわらげる、それが緩和ケアです。  
患者さんがその人らしくありつづけるために専門的なサポートを行う緩和医療センターと、その取り組みについてご紹介します。



安城更生病院では、平成14年の新築移転の際に緩和ケア病棟（現：緩和医療センター）を設立しました。当時はがん患者さんのケアに関する社会的関心やニーズが高まっていました。緩和ケアを専門で行う病棟が地域にはまだなく、三河地区初となりました。

## 穏やかに過ごしていただくために

当センターでは緩和ケア外来と入院施設を備え、17床ある病室は全て個室です。利用対象となるのは悪性腫瘍および後天性免疫不全症候群の患者さんで、効率・効果的な緩和ケアを行うために、ご本人が病名や症状をご存じであることが望ましいとされています。また、これらの病室には心電図などのベッドサイドモニターを設置せず、ベテラン看護師が知識と経験に裏付けられた観察力を発揮し、患者さんの小さな変化を見守っています。入院中は外出・外泊が可能のほか、音楽会や季節の行事、アニマルセラピーなどが開催され、病院の生活にやすらぎを与えています。またゆったりとしたデイルームではご家族と過ごしていただいたり、窓から通り過ぎる小鳥や小動物を眺めることもできます。

## 「緩和ケア＝終末期医療」ではない

緩和ケアは、必ずしも終末期にのみ行うものではありません。体がつらいと前向きな気持ちで治療に取り組むことが難しくなるため、早期から身体の痛み・食欲不振・息苦しさ・だるさ、そして心の不安や心配などを軽減し、やわらげていきます。痛みやつらさの原因は一人ひとりによってさまざまなので、治療方針は患者さんとご家族の意向を尊重して決めていきます。症状が安定した場合は在宅医療に移行することも可能です。その際は医療ソーシャルワーカーをはじめとする専門スタッフがつかりとお話を伺い、地域で安心して療養いただけるよう環境を整えます。このような緩和ケアは、患者さんがよりよく生きるために必要不可欠なもの。そのため他診療科との連携も積極的に行っており、他病棟の患者さんでも緩和ケアを受けることができます。

## 症状緩和チームの役割

専門的な緩和ケアを行うために、医師（主治医・緩和ケア医）・看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士・臨床心理士がチームを組み、患者さん一人ひとりの「全人

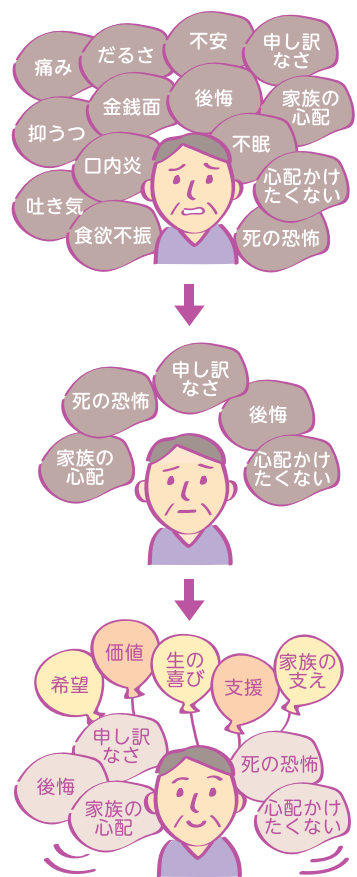


- ① すべてのスタッフが連携し、ご本人や家族に最適な緩和ケアを提供しています。
- ② 病室は全室個室。大切なペットとの面会も可能です。
- ③ 行事やイベントは、病院での生活にやすらぎを与えてくれます。
- ④ 動物とふれあえる大好評のアニマルセラピーでは、思わず笑顔がこぼれます。

## ご相談から入院まで 緩和医療センター

〈電話相談受付〉  
月～金曜日 10:00～16:00  
TEL 0566-75-2111（代表）

図1 痛みや不安が解消されると、  
気分が軽くなり前向きな  
気持ちがよみがえる。



的痛み（トータルペイン）」と向き合います。例えば、抗がん剤治療の副作用に悩まされ、がんの骨転移によって腰痛も悪化し、このまま医療費を払って治療を続ける意味があるのか悩んでいる患者さんの場合、腰の痛みは放射線治療と鎮痛薬、コルセットで緩和し、吐き気や口内炎など抗がん剤の副作用は薬を調整して軽減します。同時に、管理栄養士は患者さんが食べやすいように食事を工夫し、医療ソーシャルワーカーは国の制度や助成を活用して、医療費負担を軽減するアドバイスを行います。そうして身体と心の苦痛が緩和されると気持ちが楽になり、将来に対し前向きに向き合う意欲が再び湧き出てくるのです（図一）。

## ご相談から入院までの流れ

たとえつらくても、患者さんはなかなか苦痛を訴えることができません。それは、医療従事者の誰もが認識しています。そのため当センターでは「遠慮せず、まずは『つらい』と声をあげてほしい」と呼びかけています。主治医に言いづらいときは、看護師や病院スタッフ、また「がん相談支援センター（医療福祉相談室）」に相談することも可能です。緩和ケアについての質問や、病棟見学、入院費をはじめ入院生活に関するご相談など幅広く患者さんの悩みにお応えしています。

## 医療用麻薬を効果的に使う

患者さんの痛みを緩和する方法として効果的なものに、モルヒネなどの医療用麻薬があります。しかし「麻薬」という言葉に抵抗があり「最期の手段」と捉える患者さんが多いのも事実。重病の患者さんの中には「痛くて



## Doctor Interview



緩和医療センター長  
緩和ケア内科代表部長  
足立 康則

### 心に深くかわかる緩和ケア

私はもともと形成外科医としてがん治療に携わってきたのですが、そこを訪れる患者さんから「治療は非常にづらいこと」「精神的な負担も大きいこと」を聞き、何か手助けできないかと考えたことが緩和ケア医を志したきっかけです。心の内面に深くかわかる分野であるため、いったん精神科に移って専門的な知識を修得し、診療経験を積んでから緩和医療センターに赴任しました。

当院には、緩和ケア病棟と症状緩和チームという2つの柱があります。緩和ケア病棟は、抗がん剤や放射線治療などの積極的な治療から距離を置き、痛みを取り除きながら療養する患者さんが入院される場所です。一方の症状緩和チームは、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士などのスペシャリストが結集し、緩和ケアに特化した医療サービスを一般病棟や外来で提供するチームです。がん治療に携わる診療科の医師は標準的な緩和ケアの知識と技術を備えています。がんは痛みの原因が複雑だったり、心理的な要因がからんでいたりと、一般的な治療では太刀打ちできないケースが多々あります。そんなとき症状緩和チームが院内のさまざまな診療科へ赴き、病棟の医療スタッフと連携して専門的な見地からケアを行うのです。

このように多職種が連携するチーム医療は、在宅医療に移行する際にも重要です。ご本人とご家族の意向を伺いながら自宅やグループホームなど

の選択肢を考慮したり、食事や薬のコントロールをどう行うか検討するなど、さまざまな専門家が知恵を出し合いながら、要望に沿う条件を整えます。そして患者さんを地域に送り出した後は、病状が悪化してもすぐ再入院していただけるよう、緊急用の病室を1床用意しています。地域の医師に託しながらも安城更生病院が地域全体をフォローし、患者さんとながら続ける。その環境があるからこそ、安心して地域に戻っていただくことができています。

### 病院全体で患者さんをバックアップ

切れ目のない緩和ケアが提供できないと、患者さんが一番つらい時期を前に一緒に戦ってきた主治医と別れ、初対面の医師や看護師の中に入っていくしなければなりません。治療から在宅医療、もしくは看取りまで切れ目なくケアを提供することは、患者さんの負担を軽減するために大切なことなのです。また当院では職種の垣根が低く、気軽に意見を言い合える風土があることも特徴です。ボランティアの方々にも活躍していただいており、音楽会や人気のアニマルセラピーなどの企画にはなくてはならない存在となっています。医療者だけでなく、事務スタッフや施設管理スタッフ、ボランティアすべての人々が一丸となって病院を支え、患者さんのために役割を果たす。センター設立時から培われてきたこの伝統を今後も引き継ぎ、さらに発展させていくことが私たちの使命です。

## 病院全体で患者さんを支え 切れ目のない緩和ケアを 提供する

## Head Nurse Interview



看護課長  
齋藤 則子

## 患者さんの不安を 受け止め 思いを引き出す

緩和医療センターを訪れる方は、患者さんご家族もさまざまな不安を抱えています。私たちが大切にしているのは、不安を受け止め、患者さんの意思を尊重すること。しかし「トイレは自分で行きたい」「家で過ごしたい」という思いがあっても、遠慮があり口に出しづらいのも事実です。そのため一番身近なところでケアを行う看護師は、脈や呼吸の変化はもちろん、言葉や表情、反応の違いから患者さんの小さなサインをいち早く捉え、思いを引き出していくことが大切です。患者さんの思いやご本人を取り巻く環境は千差万別。患者さんの思いを他の医療者につなげたり、ときには患者さんとご家族のパイプ役となり、対

話の手助けをすることも珍しくありません。また当センターでは、治療と緩和ケアのつながりを大切にしています。他の診療科に入院されていても治療開始から緩和ケアがスタートしており、主治医が緩和ケア医や症状緩和チームと連携しながら治療やケアにあたります。在宅医療に移行する場合には、センターで行っていたケアを地域の医師に引き継ぎます。「不安だったが何とかなった」という声からうかがえるように、最近は訪問看護など地域の医療環境が整い、十分に患者さんご家族をフォローできるようになってきました。私たちはその中心となって、地域医療を支える立場でありたいと考えています。

## Certified Nurse Interview



がん性疼痛看護  
認定看護師  
蜂須賀 水絵

## 「その人らしくある」 ために身体と心の 「つらさ」を取り除く

安城更生病院では、さまざまな診療科から依頼を受けて緩和ケアを提供する症状緩和チームが組織されており、私もその一員として患者さんのケアにあたっています。私は特定の病棟には所属せず、かわりに各病棟でチームの専任者として、入院された患者さんの抱えるつらさがやわらいでいるか、医療用麻薬が効果的に使用されているかなど、専門的な視点から病院全体の状況を管理しています。そして必要と判断すれば現場へ出向き、状況を確認してアドバイスを行っています。症状緩和チームは緩和ケアに特化して患者さんとかかわるため、普段から患者さんと接する現場に配慮し、状況に応じた判断を行うことも大切です。そ

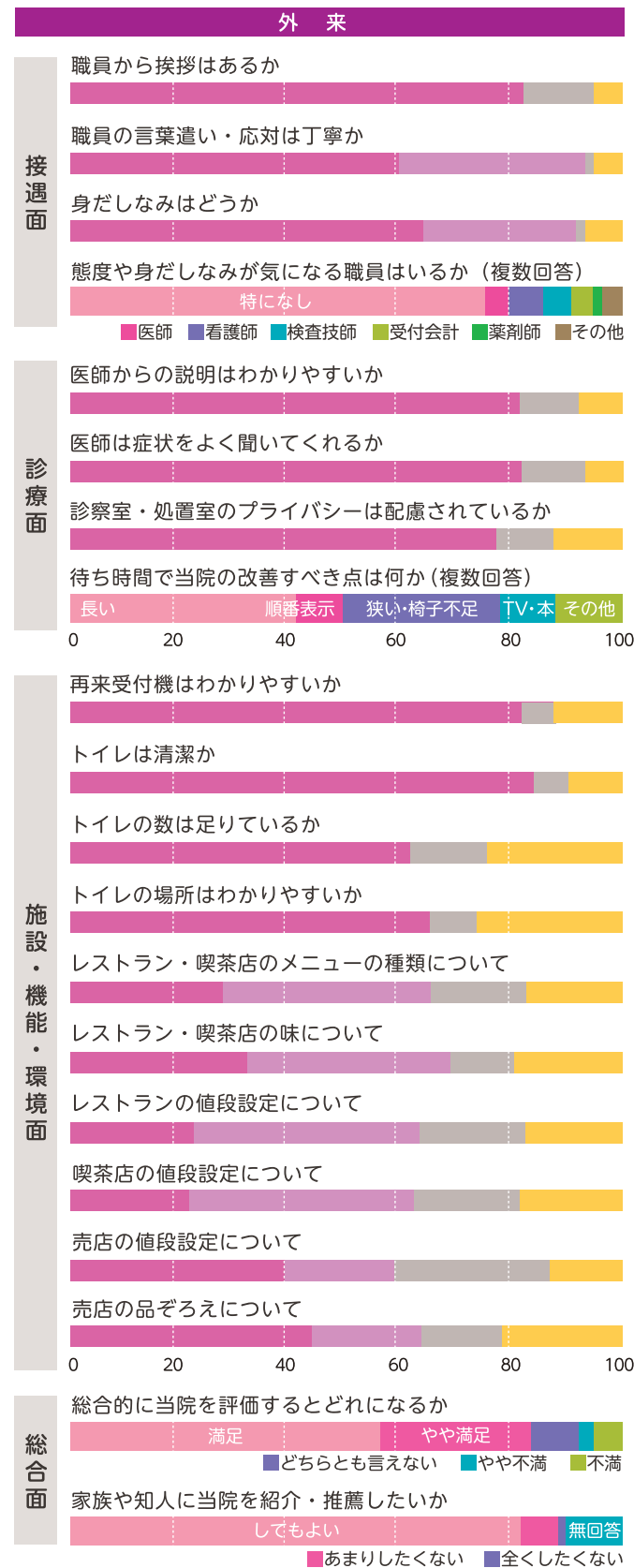
のため病棟の看護師とは密に情報を交換し、何かあったときにはすぐに頼ってもらえるよう信頼関係を築く努力をしています。「緩和ケアは終末期に行うもの」と誤解される方も多いですが、決してそのようなことはありません。病気や治療に起因する身体と心のつらさを取り除くことは「その人らしくある」ために必要な処置です。それがQOL（生活の質）や生きる意欲にもかかわってくるため、緩和ケアとして医療関係者が一緒に背負うことは当然なのです。緩和ケアが保険適用される疾患はまだ一部に限られますが、この考え方がもっと当たり前になる時代をつくっていくことが、これからの目標です。



## 患者満足度調査〈結果報告〉

当院では、患者さんやご家族のみなさんから広くご意見をいただき、病院運営改善に努めていくために「患者満足度調査」を年 1 回実施しています。調査は、外来・入院患者さん向けに実施させていただき、職員の接遇、診療、施設、全体評価について回答いただきました。お忙しい中、調査にご協力いただいたみなさまに感謝申し上げます。

■実施期間／回答数 外来：令和 2 年 7 月 27 日～ 31 日／ 104 枚  
入院：令和 2 年 8 月 3 日 ～ 14 日／ 379 枚



ご指摘が多かった項目の改善に向けて努力してまいります。本調査の詳細をホームページに公開しております。

## 連携医紹介

安城更生病院は、地域医療支援病院として地域の医院やクリニックと連携し、みなさんの健康を守っています。日常の健康管理やちょっとした体調の変化など、連携医に気軽にご相談ください。

### 東栄歯科医院

真心のこもった診療、  
清潔で明るい医院環境で、  
「健口作り」をお手伝いします

平成13年4月に安城市東栄町に開業し、  
20年目を迎えました。

安全で良質な医療を目指すだけでなく、  
一人ひとりの患者さまに寄り添い、一  
緒に考え「健口作りから健康維持」の  
お手伝いができたらと思っています。  
近年、歯周病をはじめとする「お口の  
病気」と全身疾患（心疾患・糖尿病等）  
や感染症との関係が多く取り上げられ、  
「口腔ケア」が非常に重要であると考え  
られています。当医院では、みなさま  
が生涯「健口」でいられるよう、それ  
ぞれに合ったケア、メンテナンスに全  
力で取り組んでおります。

安城更生病院の歯科口腔外科には、日  
頃から大変お世話になっており、今後  
も連携を取りながら、地域のみなさま  
のお口の健康作りのお手伝いをしてい  
ければと思っています。



安城市東栄町 5-30-6（新安城駅から徒歩約 15 分）  
TEL 0566-96-4343 <https://www.touei-dc.com>

■診 療 科 目：歯科一般、小児歯科、矯正歯科

■診 療 時 間：午前 9：30 ～ 12：30  
午後 2：30 ～ 7：00  
（土曜午後 2：30 ～ 6：00）

■休 診 日：木曜・日曜・祝日



院長 奥谷 浩和

### 碧海中央クリニック

赤ちゃんから年配の方まで  
家族みんなが通える  
専門性の高いクリニック

平成 29 年に刈谷市に開院しました。安  
城更生病院からも近く、病診連携など  
で大変お世話になっています。当院は  
刈谷市のみならず、安城・知立・高浜・  
豊田・碧南市など碧海地区の多くの患  
者様に通院いただいています。整形外  
科専門医である院長をはじめ、小児科  
医・内科医・皮膚科医・リウマチ医な  
ど各専門領域の医師が複数在籍してお  
り、チームワークよくさまざまな身体  
の変化を専門的かつ総合的に診療して  
います。また MRI・エコーなど診療  
機器を駆使してより早く正確な診断を  
心掛けています。リハビリ科では複数  
の理学療法士がよりよい施術を受けて  
いただけるよう努力を重ねています。  
スタッフ一同、みなさまにとって相談  
しやすいさらに厚く信頼される医療機  
関となるように目指してまいります。

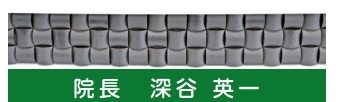


刈谷市野田町新上納 300-1（東刈谷駅から車で 8 分）  
TEL 0566-63-5200  
<http://www.hekikaichuo-clinic.com/>

■診療科目：整形外科・リウマチ科、リハビリテーション科、  
内科・腎臓内科・膠原病内科、小児科、皮膚科

■診療時間：午前 9：00 ～ 12：00 午後 4：00 ～ 7：00  
土曜午前 9：00 ～ 午後 2：00（一般整形外科のみ）

■休 診 日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日



院長 深谷 英一



## News & Topics

### 感染症対策にご協力をお願いします

地域のみなさんのご協力・ご支援のおかげで、安城更生病院は新型コロナウイルス感染症に負けることなく医療機能を維持できています。引き続き、感染症対策へのご協力をよろしくお願いします。



手指消毒、  
マスクの着用を  
お願いします

出入り口を1カ所に  
制限し、検温を実施  
しています

入院患者さんへの  
感染防止のため、  
面会を禁止しています

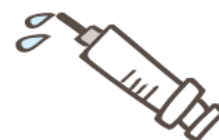
※流行状況を考慮し、適宜変更する場合があります。  
最新の情報は当院のホームページでご確認ください。<https://anjokosei.jp/>



### インフルエンザの予防接種を実施します

65歳以上で安城市から個人通知があった方は無料です。予約時にお申し出ください。

当院のインフルエンザ予防接種は予約制です。予約期間内でも、定員に達し次第予約を締め切らせていただきます。  
また、当院は健康保険組合発行の「インフルエンザ予防接種の受診券」をお取り扱いできません。あらかじめご了承ください。



#### ■ 16歳以上

申込方法：電話または健康管理センターで直接受付予約

受付時間：14:00～16:00  
TEL 0566-75-3020 (健康管理センター)

申込期間：9月23日(水)～なくなり次第終了

実施期間：10月19日(月)～12月上旬  
(1月以降はお問い合わせください)

実施日時：月曜日/金曜日 12:30～13:00

場 所：2階 健康管理センター

料 金：4,950円(税込)

接種回数：1回法

#### ■ 生後6カ月から16歳未満 (中学生まで)

申込方法：電話で予約

受付時間：14:00～16:00  
TEL 0566-74-5489 (予約センター)

申込期間：10月1日(木)～なくなり次第終了

実施期間：11月6日(金)～12月25日(金)

実施日時：火曜日/金曜日 14:30～15:00

場 所：2階 健康管理センター

料 金：1回3,850円(税込)

接種回数：2回法\*(13歳以上は1回法)

### AEDが新しくなりました！

当院に設置してある25台の自動体外式除細動器(AED)を最新式に更新しました。  
今回採用したAEDには、いつでも確実に使用できるように、機器自身が毎日セルフテストを行って異常がある場合には病院スタッフに速やかにメールを自動送信する機能がついています。また近隣の救急隊と連携しAEDの機種をそろえたことで、救急時も円滑に使用できるようになりました。



### いんふおめーしょん こうせい

2020年10月号 No.110 発行日/2020年10月1日

発行責任者/病院長 度会正人 発行/安城更生病院 広報委員会

編集協力/株式会社エンカウント

愛知県厚生農業協同組合連合会  
安城更生病院  
ANJO KOSEI HOSPITAL



〒446-8602 愛知県安城市安城町東広畔28番地

TEL 0566-75-2111 <https://anjokosei.jp/>